

埼玉親善大使レポート

Noviembre de 2017

小林 幹

11月になり、朝晩は冷え込み、日中でも少し涼しくなってきました。渡航後初めてのコースが終わり、1週間の休みがありました。今回は自分が旅行した世界遺産の街グアナファトと11月1日、2日に行われる死者の日について紹介したいと思います。

1週間のお休み

無事テストを終えることができ、待ちに待った1週間のお休みをいただきました。私はその1週間で世界遺産の街グアナファトとメキシコ第二の都市グアダハラに行って来ました。グアナファトへは、メキシコシティーからバスで片道約6時間、500ペソ（約3000円）で行くことができます。街自体はすごく小さく一日、二日で全て回ることができま

す。グアナファトが世界遺産になっている理由はそのカラフルな街並です。ピピラの丘という丘からその町並みを一望できますが、すごく綺麗で、また昼間と夜中で違う雰囲気町の町並みを楽しむことができます。もしグアナファトへ行ったら絶対に行くことをお勧めします。



(ピピラの丘からの夕暮れの景色)



死者の日

11月1日、2日はメキシコ全土で死者の日という伝統的なイベントが開催されました。死者の日は、ユネスコ無形文化遺産にも登録されていて日本でのお盆に当たりますが、メキシコの死者の日は悲しいものではなく、陽気で死者を楽しませようとするものです。この日は、いたるところに Ofrenda(祭壇)やマリーゴールドが飾られ、メキシコ人は男女問わずみんな顔に骸骨のメイクをして死者の日を楽しみます。私は死者

の日で有名なメキシコシティの外の小さな街
Mixquic に行って来ました。死者の日の Mixquic の墓
地ではたくさんのマリーゴールドや供物を見ることが
でき、夜になるとろうソクに火を灯しとても幻想的な
景色を見ることができます。

死者の日をより深く理解するために、今年のメキシコ
映画 COCO を見ることをお勧めします。私も一回み
たのですが、死者の日の持つ意味を理解するためには
とてもいい映画です。日本では来年の3月にリメンバ
ー・ミーという題名で公開予定らしいので、ぜひご覧
ください。



(Mixquic の墓地)



(Ofrenda)